



小玉スイカ(黒皮種)品種比較調査の紹介

札幌市農業支援センターでは、平成25年度に小玉スイカ(黒皮種)の品種比較調査を行いました。その調査結果をご紹介します。

小玉スイカは、冷蔵庫に入る手頃な大きさで、直売において魅力的な商品ではありますが、栽培途中に裂果しやすいという弱点を持っていました。そこで、数年前に黒皮種の小玉スイカを栽培したところ、通常の小玉スイカと比較し、皮が厚く、裂果しにくいという結果が出たことから、民間育成の「ひとりじめBONBON」(萩原農場)、「黒娘」(ナント種苗)、「姫甘泉ブラック」(丸種)、「黒竜」(中原採種場)、「ミニ黒太陽」(神田育種農場)、「黒娘ここあ」(ナント種苗)、「ブラックボンバー」(タキイ種苗)以上7品種について調査を行いました。

今年度は4月5日に播種し、その後は低温に見舞われ、生育の遅れが心配されましたが、5月30日に定植した後、6月に入り気温も平年並みへ持ち直し、順調に生育しました。品種間差により、食味の他、収穫個数及び収量等に差が出ました。

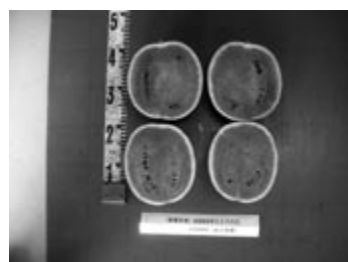
病虫害などによる生育への影響について、アブラムシやダニの発生等が見られ、防除を行いました。特に病気の発生については認められませんでした。裂果について、1品種2果に発生した以外にはありませんでした。今回の調査について、当センターでの食味試験成績の良かった2品種「ひとりじめBONBON」及び「姫甘泉ブラック」を小玉スイカ生産者の方々にご意見をいただいたところ、食味に優れているとの評価を得ました。

「ひとりじめBONBON」及び「姫甘泉ブラック」は、糖度及び食味に優れ、硬さがあり、シャリ味を好む方におすすめな品種です。

収穫は、着果始から約40日後の7月30日から開始し、8月9日まで行いました。食味試験結果及び収量については下記のとおりです。詳細については、農業支援センターにお問い合わせください。



写真「ひとりじめBONBON」の全景・半割



写真「姫甘泉ブラック」の全景・半割

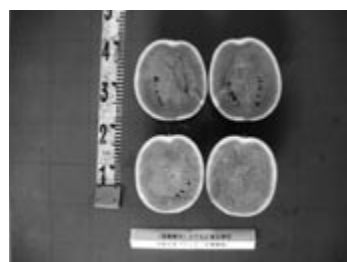


表1 小玉スイカ食味試験(参加者54名)の結果

		ひとりじめBONBON	黒娘	姫甘泉ブラック	黒竜	ミニ黒太陽	黒娘ここあ	ブラックボンバー
肉質	水分	4.3	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0
	硬さ	3.6	3.4	3.6	3.5	3.0	2.8	3.1
	シャリ味	3.8	3.4	3.7	3.5	3.0	3.0	3.1
食味		4.3	3.5	4.1	3.5	3.3	3.2	3.3
糖度(内側)		13.9	12.4	14.1	13.3	11.6	12.2	12.6
糖度(外側)		12.2	10.4	12.8	12.9	10.9	11.9	10.6
糖度(差)		1.7	2.0	1.3	0.4	0.7	0.3	2.0

※各項目(良5~不良1)、糖度(Brix値(%))

表2 小玉スイカ収量結果

品種	ひとりじめBONBON		黒娘		姫甘泉ブラック		黒竜		ミニ黒太陽		黒娘ここあ		ブラックボンバー	
	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)
合計(4株)	18	47.0	10	41.9	17	42.7	12	43.7	15	44.1	20	38.7	16	62.2
平均	4.5 /株	2.6 /個	2.5 /株	4.2 /個	4.3 /株	2.5 /個	3.0 /株	3.6 /個	3.8 /株	2.9 /個	5.0 /株	1.9 /個	4.0 /株	3.9 /個

問い合わせ先

札幌市農業支援センター

Tel.787-2220